

小松運動公園末広野球場（弁慶スタジアム）の管理運営に係る サウンディング型市場調査の結果概要について

令和 8 年 2 月 20 日

小松運動公園末広野球場（弁慶スタジアム）の管理運営方法や利活用等について、幅広い民間事業者の皆様との対話を通じ、広くご意見やご提案をお聴きし、今後の管理運営方針の参考とすることを目的にサウンディング型市場調査を実施しました。

今回、民間事業者の皆様と個別対話を実施し、結果を取りまとめましたので、その概要を次のとおり公表します。

1. 実施概要

(1) 実施要領の公表

令和 7 年 10 月 10 日（金）

(2) 説明会・現地見学会

実施日：令和 7 年 11 月 20 日（木）

参加者：1 者

(3) 個別対話（サウンディング）

実施期間：令和 8 年 1 月 13 日（火）～16 日（金）

参加者：3 者

2. 個別対話の主な内容（参加者からの提案等、順不同）

(1) 末広野球場の課題とポテンシャルについて

- ・屋外の運動施設であるため、興行を行う際は雨天時のリスクが高い
- ・大型イベント開催時には、駐車場台数の確保が課題
- ・室内練習場は県内野球場の中でも最大級である
- ・市街地に近く、新幹線駅や空港、高速道路インターがある利便性が圧倒的な魅力
- ・スポーツ施設全体を効果的に活用し、スポーツ環境の最大化を図ることが必要

(2) 効果的・効率的な運営・維持管理に関する提案

- ・全面人工芝や全天候型施設の導入を段階的に検討することで、雨天時における運営の安定化を図ってはどうか
- ・グラウンドの使用頻度向上を図ることで収入の確保を図ってはどうか
- ・室内練習場は、バッティング練習が可能になればさらに利便性が向上する

- ・フェンス広告やマウンド広告などにより、新たな収益源の開拓が可能と思われる

(3) 民間ノウハウを活用した施設運営に関する提案

- ・NPBとの交流戦を実施することで、交流人口拡大につなげられる
- ・野球以外のイベントも年間を通じて実施することが、安定的な施設運営につながる
- ・スポーツ教室を室内練習場で開催することが、市内児童の体力向上につながる
- ・近年は健康経営に係る事業者への助成金・補助金制度があるが、具体的な取り組み内容を探しているところも多いため、事業者へ対するアプローチも良いと思われる

(4) 管理に参画するための条件・課題

- ・現行の運動公園施設全体での指定管理者公募では民間企業の参入障壁が高いので、野球場単体での公募を行ってはどうか

(5) 小松運動公園全体としての機能連携に関する提案

- ・野球に限らず、他競技の施設利用者もターゲットとしたスポーツ科学フィジカル検診施設として活用してはどうか
- ・末広野球場を核にアスリート向けのスポーツドッグや市民向けの体力ドッグを行う拠点施設として小松運動公園全体を整備してはどうか

3. 今後の予定

小松運動公園末広野球場（弁慶スタジアム）の管理運営について、本調査によりいただいたご意見やご提案も参考にしながら、引き続き検討を進めます。

なお、ご意見・ご提案の内容が必ずしも今後の政策に反映されるとは限りません。

(公表期間：上記公表の日から1年間)